京都帝國大學新聞

五月二日・一二一日發行 二回

購讀料 一部五錢（郵税五厘） 一年一圓（郵税とも）

廣告料 一行につき金五十錢（記事中は此二倍） 掲載ページを指定するときは二割増とす

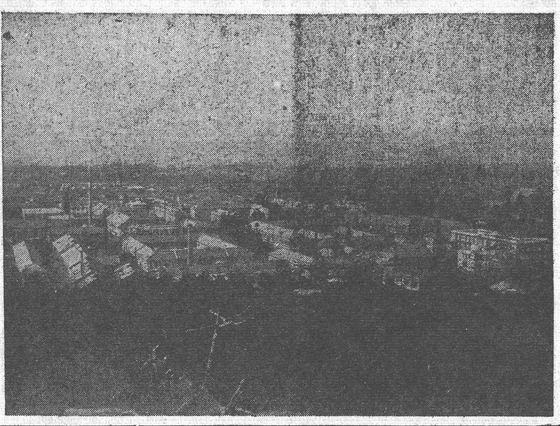
發行編輯兼印刷人 入山雄一

發行所 京都帝國大學 學友會新聞部 電話上九八〇番 振替大阪七三二八九

春・送迎行進譜

けふぞ巣立つ新學士のむれ

入れかはり新たに迎へる若うどは千五百名



文理農の二次募集

文學部本年度の絢爛たる新陣容

斯界の權威をあつめて

學生生計調査の報告書を出版

四月中に學生課の手で本學最初の試み

法經の控所開館

婦人科學會に本學活躍

本紙西田博士南洋行き

新總長のプロフィル【1】

教科書も買へぬ逆境に育つ

代言が重直になる迄

▽今こそ△

▽政治家△

▽教育的△

▽總長△

▽まじめ△

文字通り街頭進出

百萬遍東一條間で鋪裝路の實驗

様々のセメントを使ひ分けて土木工學科の新しい試み

「街路」

「研究」

「八幡」

舊病理標本室に醫學部圖書館

芝蘭會の新事業

CORONA Model S

劃期的ノ新機構！ 小型輕快ノポータブル 而カモ機能ヘ 大型事務用機ニ匹敵

英、佛、獨、露、各國語 數、化、工學用等 備完て見

東京銀座 黒澤商店 電話銀座1638

京都寺町 文適堂 電話上1004

求職開拓講演會

京ごよみ

本日八頁

愛讀者の皆さまに急告！

學友會員 本學の今までの配布方法では、一寸休講したり、或は缺席すると手にはいらぬと云ふ憾がありましたので本號限りで次號からは次の様な方法に改めました。從つて從來のやうに誰でもが勝手に取ることは出來なくなりました。

購讀者 一般 學士 旬刊に

御家庭

京都帝國大學新聞 振替大阪七三二八九番

滿鮮特輯號 四月號 本號に限り 六十錢 品切れの場合増刷せず

ドルメン

口繪

滿洲の古人種 清野謙次

北滿のツングース族 小山榮三

老鐵山麓の石斧から關東廳博物館創立まで 島村孝三郎

ハルビン博物館 三上次男

關東廳博物館 島田貞彦

滿洲考古學發達小史 島田貞彦

南滿洲の漢代貝墓 駒井和愛

熱河發見の契丹文字墓誌 島田生

北陵見物記 青鳥生

滿洲の貨幣 島田貞彦

支那古代のイルミネーション 田中國介

東省文物研究會 陶存厚

私と熱河省の研究 鳥居龍藏

滿洲に於ける小兒の遺棄死體と迷信 森修

建築家のみた慰遲敬德の傳説 村田次郎

むかし見た滿洲 三村竹清

板振鎌東獄に下る 鳥山喜一

蒙古チャムの祭見たまゝ 江上波夫

滿洲の便所 伊藤清造

滿洲の思出 濱田青陵

朝鮮人體質人類學に關する文獻目錄 島五郎

朝鮮考古學略史 藤田亮策

慶州博物館 有光教一

朝鮮博物館見學旅日記 小泉顯夫

慶州南山遺蹟 杉原莊介

朝鮮土産話 今村博士談

朝鮮の寺院 武田久吉

朝鮮の注連繩 及川民次郎

朝鮮の城隍神 大曲美太郎

黒板博士の伯母さん

巫女の家 秋葉隆

朝鮮の火田民 武田久吉

朝鮮に於ける白衣の禁に就いて 加藤灌覺

朝鮮の尻こり文句など 田中梅吉

朝鮮民俗學界への展望 岩崎繼生

東莱貝塚・朝鮮索戰考 及川民次郎

妓生の話 山中鹿六

びんづ雜話 島田貞彦

厠の後始末について 青木一郎

朝鮮古地圖のところ〲 近藤音三郎

Onanie語史攷 大藪訓世

原始的舟の形態と分布 佐々木彦一郎

三九郎の家を訪ねて 胡桃澤勘内

石神巡禮 白石道人

鳥追ひ行事の特異性

小豆飯の厄除け 早川孝太郎

人種秘誌 山中源二郎

慶州の金冠塚 濱田耕作

考古學研究法 モンテリウス著 濱田耕作譯

東西交渉史の研究 西域篇 文學博士 藤田豐八著 文學博士 池内宏編

山村語彙 柳田國男

昔話採集の栞 柳田國男

女性と民間傳承 柳田國男

地名の話その他 柳田國男

埃漢文字同源考 板津七三郎

東京神田駿河台一ノ八 岡書院 電話神田二七五番 振替東京六一九番

内外時事

滿洲國を「めぐる」諸問題

末廣重雄

孤立の我日本

滿洲に於て、皇軍は恰も猛虎の群羊を驅るが如き勢を以て支那軍を撃破しつゝあるに反し、滿洲問題に關する我國の外交の振はざることは遺憾に堪へぬ次第である。一昨年十二月聯盟理事會に於て十三對一でみじめな失敗をしたことは、未だ吾人の記憶に新なるところである。其後我が政府當局は列國政府をして我國の主張を認めしむるよう多大の努力をしたには相違ないが、遂に何の得るところもなかつた。最近の聯盟總會に於ては四十二對一で失敗の上塗をなし、歐洲にも、アメリカにも、大洋洲……

昨年末之と不侵略條約まで締結したのであつた。今日まで不承認の方針を固守し來つた米國政府すら、遠からず其の對露方針を變改しさうな雲行である。滿洲國に對する列國の態度も同様であらうと考へる。新國家が健全なる發達を遂げ、商工業が勃興して、列國との通商貿易の關係が密接になりさへすれば、何時までも其の存在を無視するが如きことは斷じて出來ないのである。況んや滿洲國は露國政府の如く列國にとりて危險なるものではないのであるから、早晩其の存在を承認し、之を承認するに至るべきことは、疑を容るゝの餘地がない。從つて……

亞細亞モンロー主義は、之を……する人によつて必ずしも其の……を同じくせず、温健なるもの……過激なるものに至るまで、……るやうであるが、其の中で……人の注意を惹くのは、軍部……者の主張にかゝるものである……に之を紹介する。曰く

東亞諸國の現狀に對して自……に東亞の盟主と許し、其の……を有するのみならず、皇道……布して之が救護に當るべき……の使命を帶ぶる皇國日本は……早之を放任傍視する譯には……ぬ。正義の爲である以上、……ひ國力を傾くるも、敢然と……ねばならぬ……

東亞の諸國は白色人種壓迫……象となつてゐる。覺醒した……國日本は今日以上に彼等の……を許容することは出來ない……うれの强國の行動と雖も、……に即せぬ限り、斷じて之を……するのが皇國日本の任務で……と云ひ、更に進んで曰く

東亞の何れの地點に於ける……の發生も日本としては默視……ことが出來ないのである。……に擾亂の發生、平和の破壞……しては、日本は實力に訴へ……

滿洲國の前途

極東モンロー主義を批判す

論壇月評

米國金融恐慌

經濟對策の問題

B・ショウ

無氣力に終つた第六十四議會

丸山幹治

アメリカの金融恐慌とわが爲替對策

谷口吉彦

若返らぬ議會

多喜二の死

新刊紹介

雜誌

國民待望の書出づ!!
愛國の士は來り讀め!!
青年男女よ支那を知る人は知らざる人に一歩を勝る

後藤朝太郎著
支那讀本

愈々聯盟脱退に決したわが日本は東亞の盟主として東洋永遠の平和樹立の爲に猛進しなければならぬそれには支那に關する知識が必要である政治家、外交官は勿論青年團、處女會、小學校、中學校、女學校、實業學校等には本書を備へ研究あらん事を望む

問題の支那、不可解の支那、動亂の支那資源の支那、エロの支那、グロの支那、ナンセンスの支那、表面の支那、裏面の支那…等ありとあらゆる方面より支那を解剖し、支那を踏査し或は科學的に或は物語的に讀んで面白くかんで味のある趣味讀本たると同時に國民讀本として推奬する

國民總動員老若男女等しく來りて是非一讀せられよ!!

定價壹圓貳拾錢 送料八錢

鷹取岳陽著
漢詩入門
四六版上製 四二〇頁 定價一・二〇 送料・一四
平易なる言葉を以て漢詩の作法を説き、著者獨特の興趣ある行文を以て一讀漢詩作法の妙諦を會得せしむ。

川田瑞穗著
詩語集成
四六版上製 六八〇頁 定價二・五〇 送料・二四
古今數千年無限の詩題は一目瞭然興味湧くが如く作詩家文章家の便之に過ぐるなし好學の士の机上に備ふ。

角田音吉著
支那女流詩講
四六判上製 三八二頁 定價一・八〇 送料・一四
從來漢詩に親まざる人も一度本書を繙けば容易に漢詩の趣味を了解せらるべきを確信す。

德富蘇峰翁題字
佐久間貞次郎著
支那風俗春秋
四六判上製 三〇〇頁 定價二・八〇 送料・一四

東京銀座西二ノ一 振替東京七五六二
立命館出版部

鐵塔

10錢雜誌の王4月號
1ケ月10錢、半年60錢、1年1圓20錢

幸田露伴……桃花と河豚（長篇隨筆）
大河内正敏……武器の寶込み
吉村冬彦……言葉の不思議
安田德太郎……自殺を罵倒す
藤原正……藤村操君投瀑前後記
兼常清佐……樂人の自殺
永田廣志……自殺について
佐々木孝丸……西洋河原乞食の話
北村義男……ワーグナーの思想的轉向
熊澤復六……チエーホフと「櫻の園」
山本光雄……ギリシア哲學者列傳
外村史郎譯（ギルシヨン）……賢い伯父と愚かな少女
中垣虎兒郎譯……カムチヤツカ紀行
ある人の手紙及び詩。鐵塔の窓。

落合太郎著
フランス文法
菊判上製 三三〇頁 定價一圓二十錢 送料十八錢

中央氣象臺長 理學博士 岡田武松著
測候瑣談
四六判上製 五〇〇頁 定價一圓三十錢 送料十八錢

寺田寅彦著
萬華鏡
定價一圓 送料十一錢

藤原咲平著
氣象と人生
定價一圓 送料十一錢

中垣虎兒郎著
極北黄金郷の三十年
四六判上製 三〇〇頁 定價一圓四十錢 送料十錢

發行所 東京市神田區一ツ橋通九 鐵塔書院

金・貨幣・紙幣

貨幣問題の批判

笠信太郎著　菊判・三四四頁・紙裝　定價一・〇〇　送・一〇

世界の金本位は何處へ？　そして諸君は、この切實なる問題をいかに攝まんとするか？　紙幣の國日本こそ世界の大衆の生活は何處へ？

世界景氣の展望

世界資本主義の牙城アメリカの金本位倒壞す。世界の、日本の景氣はどうなる？

平尾彌五郎著　四六判・四〇〇頁・紙裝　定價一・五〇　送・〇八

世界と恐慌と賠償戰債問題

平尾彌五郎著　菊判・四〇〇頁・紙裝　定價三・〇〇　送・一〇

發行所　京都・大畑書店　振替京四九五北

タケダアパート

四月一日開業

京都洛北比叡の秀嶺を背景に二階建の全くスマートな近代的アパートです。四月一日開業を期し只今内部の盛裝に汲頭して居ります

室の全部は殆ど光線を南及東受けに致しましたから非常に明るく衛生的です且つ全館的に設備としては食堂・應接室・浴槽・瓦斯ストーブ・庭園・テニスコート等を設け總てに於いて何人も氣持良く生活せられる事と確信して疑ひません。この擧身者のオアシスが扉を開いて皆様を御待ち申して居ります　どうぞ此際新入學諸賢の御入洛を同時に御入室を賜はらん事を切に御願申上げます

位置　京都市左京區高原町水明通三ノ二（農學部北裏）

御寄宿料（電燈料・入浴共）

A室　日本間六疊　押入及び洋服棚付　十二圓
B室　日本間六疊　押入及び洋服棚付　十一圓
C室　日本間六疊　押入及び洋服棚付　九圓

御寄宿は全然家族本位とし、殊に食堂はアパート直營で實費に御滿足を得べく努める方針です（但し御食事は御隨意）

市電（北白川線）（農學部前下車）

電話上六六九二番

武田アパート

花の春……酒の春　お酒召すなら　澤之鶴

株式會社京都支店　電話下(二)一二一〇番

欧米漫遊の洋服はロンドン スタイルの長屋

京大井筒部指定　寺町九太町南　電話上五五四

小山齒科醫院

醫學博士　小山正光

淋病　一般皮膚病　梅毒　生殖器障害

光線科

鳥丸四條下ル一筋目　東入北側（阿弥陀池通り）　電話下(二)四九一番

阿部醫院

阿部正雪

經濟史研究

四月號　五十錢　京都三條通　日本評論社

日佛文化

新第三輯發賣　菊判二三〇頁　價壹圓　送料六錢

日佛會館會報

目次

フランソワ・ヴィヨンの實像と傳說の形成　辰野隆
佛蘭西の學士會院と科學アカデミー　竹内榮二
佛蘭西の學士會院と文藝アカデミー　佐藤正彰
フランスの學術研究機關について　坂倉武
ポール・ヴァレリー　石井白孔
ポール・ヴァレリー　渡邊一夫
ポール・ヴァレリー　後藤末雄
ポール・ヴァレリー　石井白孔
ポール・ヴァレリー　城井貞義
ポール・ヴァレリー　植村宰
【隨筆】佛蘭西學術會議と佛蘭西學士會院　辰野隆
【隨筆】佛蘭西學術會議と佛蘭西學士會院　渡邊一夫
【隨筆】佛蘭西學術會議と佛蘭西學士會院　後藤末雄
【隨筆】佛蘭西學術會議と佛蘭西學士會院　石井白孔
【隨筆】佛蘭西學術會議と佛蘭西學士會院　城井貞義
【隨筆】佛蘭西學術會議と佛蘭西學士會院　植村宰
【隨筆】佛蘭西學術會議と佛蘭西學士會院　坂倉武
【隨筆】佛蘭西學術會議と佛蘭西學士會院　竹内榮二
【隨筆】佛蘭西學術會議と佛蘭西學士會院　佐藤正彰
【隨筆】佛蘭西學術會議と佛蘭西學士會院　辰野隆
【隨筆】佛蘭西學術會議と佛蘭西學士會院　渡邊一夫
【隨筆】佛蘭西學術會議と佛蘭西學士會院　後藤末雄
【隨筆】佛蘭西學術會議と佛蘭西學士會院　石井白孔
【隨筆】佛蘭西學術會議と佛蘭西學士會院　城井貞義
【隨筆】佛蘭西學術會議と佛蘭西學士會院　植村宰
【隨筆】佛蘭西學術會議と佛蘭西學士會院　坂倉武
【隨筆】佛蘭西學術會議と佛蘭西學士會院　竹内榮二
【隨筆】佛蘭西學術會議と佛蘭西學士會院　佐藤正彰

發行所　東京・神田・錦町三丁目　株式會社同文館

フランス語

フランス語　フランス文學　フランス科學

學生募集

普通部
專門部

各關係學校卒業生程度

昭和十年度入學

四月十八日開始

全然初步ヨリ始メル方ノ爲メ初等科設置ス

開校

日佛學館

ア・ア九線山
電上一四一三〇

御買物は大丸へ

常に皆様の合理的配給機關として洗練された百貨の充實に精進する大丸はあらゆる御需めに對し御滿足を願へる優良商品を豊富に充實し確信ある安値を以て提供致します何卒多少に拘らず御用命下さいませ

神戸店　電話元町(二)三三〇〇番
大阪店　電話北(代)二八〇〇番

大丸　京都・四條

内外御料理

一階……大衆食堂・喫茶（ソーチツプ）
二階……小間（定食・グリル）
三階……宴會場（社交室）
四階……大宴會場（定食・グリル）
五階……酒場・グリル（女給）

御定食　¥1.50　¥2.00　¥2.50

御宴會、團人會、歡送迎會、其他諸種の御宴會、旅館宴會等には特別の御相談に應じます

レストラント

矢尾政

四條大橋

電本 1147.1148.1149

織

絹沙織
都富士
東山

京大前百万遍

鑑屋政秋菓舗

電上二七四四

テーブル椅子の御用命は共濟部指定の當店へ

定價表

テーブル　二圓八十錢ヨリ
机　一圓五十錢ヨリ
椅子　一圓八十錢ヨリ
二圓八十錢ヨリ
其他各種

京大共濟部指定

松原木工部出張所

京都帝國大學農學部前
市電百萬遍前

御宴會・御會食は

最非共樂館へ御用命の程を……

御一客　金一圓五十錢（消費稅共）
御一客　金二　圓（消費稅共）

共樂館

本館　四條大橋西詰北（第一ビル）
九階……五階……四階……
支館　千本北大路上（自動車）
電下七七六三番
百五十疊・六十疊・他小部屋多數

御宴會・御會食は

最非共樂館へ御用命の程を……

御一客　金一圓五十錢（消費稅共）
御一客　金二　圓（消費稅共）

共樂館

本館　四條大橋西詰北（第一ビル）
九階……五階……四階……
支館　千本北大路上（自動車）
電下七七六三番
百五十疊・六十疊・他小部屋多數

清酒

月桂冠

—品質第一—

新學期の御用意は

學生諸賢の店丹保屋で

當店文房具
新刊雜誌
學用品
繪葉書
寫眞材料
寫眞機
現像焼付
引伸ノート
製圖用品

丹保屋特製服

京大正門前

丹保屋

京都市上京區下立賣通小川東入

電話上三四番
中二四番
古四二番

淋病梅毒泌尿科

丸太町烏丸電停西入北側一軒目
四條電車小路電停北入

早川診療所

診察券一圓
通用三ケ月

診察時間
午前及夜間・日祭午前中

醫學博士　早川博
醫學博士　新井二郎
大矢勉

靴向生學士神青年特價提供

靴は日本
靴はハヤシ

林靴店

電上五五一一番
電下六三一七番

本店　京都市小新通京極東入下丁目

御寫眞は佐伯へ

萬葉集講座

全六卷

監修
文學博士　佐佐木信綱
東京帝國大學教授

作則
博士　藤村作
京都帝國大學教授

編纂
文學博士　吉澤義則
京都帝國大學教授

好評豫約大募集

作者研究篇配本中

内容見本進呈

裝幀、平編目錄寫眞

申込金は不要、一冊ごとに代金引換にてお送りいたします。

發行所　春陽堂　東京市日本橋區通一丁目七番

尺八

古管

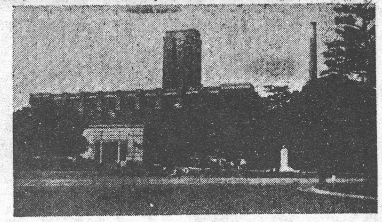
入會申込…初心者でも一年間に相當の實力者

大日本竹道會本部道場

目黒不動尾山台

電上五三一番

春陽堂



新入生を迎へて輝く學園の春

晴れの新學期開始を控へて

歡びを讚へる都の花

春風駘蕩として京の山河はうす霞の中に包まれ、近郊の花信頻りに都大路を賑はすの時、本學はこゝに千六百の新入生諸君を迎へる、希望に滿ち潑剌たる健康に惠まれた諸君が、本學を目指して馳せ參ずる有樣を思ふとき、我等は双手を擧げて歡迎の意を表したい、諸君がこれまで培かつて來たあらゆる新しきもの、純なるもの、萠芽は、やがて本學の次のゼネレーションを光彩づけるであらう、我等は諸君の學生生活中最も意義深き大學生活の第一歩を祝福すると共に、こゝに學園生活の一斑をしるして諸君のガイドとする（寫眞は本學本部新館）

新入生に與ふる各學部長の言葉

法學部

法學部には同姓二人の教授があつて、よく話題になるが、一人が宮本英脩教授、一人が宮本英雄教授である、それで學生達はこれを區別して「エイユーさん」「エイシユーさん」と呼んでゐる、前者英雄教授は法學部長で「孤獨の天才」と呼ばれる溫厚な紳士で、その論理の正確さと頭のよい講義振りは全學生の定評である、なほ部長は英吉利法第一講座及び、昨年度より新設開講の信託法の講義を擔任してゐる

自己の教養が最も大切……　宮本部長談

大學程度の知識技術の習得を目的とするなら、無理に大學に來なくても得られるが、それにも拘はらず入學せんとするものは、大學には知識の獲得技術の習得以上のものがあることを銘記してゐてもらひたい、もつと具體的に云へばそれらのものゝ習得と同時に半面において自己の教養が大切なことを忘れてはならないのである（寫眞宮本部長）

醫學部

今期の本學總長選擧の際第一次十名の人選のうちに堂々加つた醫學部長戸田正三博士は素朴な性格の持主で學究の徒といふよりむしろ腕の人であり膽の人であるやうだ、この點博士が嘗て東京市衞生試驗所長時代の行政官としての面影が偲ばれる、擔任は衞生學講座で殊に工場衞生の方面である

身體を大切に　戸田部長談

最近入學してくる學生は、試驗勉強で身體を壞してゐるものが非常に多くなつたことは遺憾である、この點は今後大いに注意して戴きたい、なほその他の點については、今迄深甚な注意をもつてやつて來てゐるが今後も大いに努める筈である（寫眞戸田部長）

工學部

工學部々長は電氣工學科本野亨博士である、博士は現在電氣工學第四講座を擔任しており、溫厚な學究である

基礎學科に努力せよ　本野部長談

新しく入學して來る學生は一般的に云へば最初一回生時代の基礎學科、たとへば數學等に全力を集中して戴きたいことであります、其他本年度からは採鑛冶金科の規定を改正致しましたからこの點を注意して戴きたい、なほ一回生のときは基礎的科目を二、三回生のときは專門的科目を學習することにしてゐますが、全體に就いて云へば出來るだけ修業年限の遲延をさけるやうに努めてゐます（寫眞本野部長）

文學部

部長は我國東洋史學の泰斗羽田亨博士である、博士の風貌は長身瘦軀、その眼光の鋭さは、絶えず笑を湛へて微かに首を振りつゝ語す時すら、對話者をして威服の感を起さしむるに充分である、博士の學問は東洋史學の中でも中央亞細亞、西域等の廣汎な地域に跨り天才的に達者な東洋各地の語學はパリの世界的東洋語學者ペリオ博士に比肩し得べく、日本のペリオと稱して敢て誤りではない、博士にして生を佛、獨國等に享けしならば、より早く、より廣く世界的名聲をかち得た事であらう、博士の講義は悠々迫らず、その透徹せる論理は學生の敬服の的である

大學は學問するところ　羽田部長談

大體、特に文學部の學生のみのもつべき心構へなんてものがあるかね、要するに大學と云ふ所は學問をする所なのだからして遊びに來てゐるのだか學問に來てゐるのか判らぬ樣では困る、とにかく專心學問をすると云ふことが第一の心構へである、身體の健康に注意することも勿論である（寫眞は羽田部長）

理學部

理學部長川村多實二教授は動物學の權威であり、博學多才の士である、殊に小鳥についての研究は全く獨壇場で、鳥の棲息地として日本唯一と教授が折紙をつけた比叡山に飛來し、棲息する數多の鳥の鳴聲までもよくするといふことである、目下動物學の第二講座生理及び生態を講義し、また大津臨湖實驗所の所長として研究を續けつゝあるが何處迄も溫情、恬淡、人情味の豐かな人格の所有者である

學部の書物を大切に　川村部長談

理學部に入學して來られる人達は出來るだけ學部の書物を大切にしてほしい、圖書のなかには貴重な論文などがあり、これらは皆の人達が參考に資するものだから出來るだけ大切にして戴きたい、たとへば頁を折つたり、ペンや鉛筆で書き入れたりする事は絶對にないやうに、めくるにも西洋式に天金のところをめくるやうに云々（寫眞川村部長）

經濟學部

部長山本美越乃博士は昨年九月部長に就任した人で、學部では植民政策、工業經濟學と併せて植民政策の演習の講座を擔當して居り、東大の新進矢内原忠雄教授に對して植民政策の老大家として我國唯一の老大家だ、特に漢學に造詣が深く、そのものする文章は一字一句もおろそかにされない人である

人格の陶冶に注意する　山本部長談

學問の自由は勿論是認されるが研究の自由に就いて、研究の未だ完成を見ないうちに實行に移すことは排したい、どこまでも大學令によつて學術のうん奧と人格の陶冶を期したい、特に人格の陶冶は從來ネグレクトされてゐたところであるが爾後特にこの點を注意したいと思ふ、詳しくは四月十五日には入學生に對して訓示する積りである（寫眞山本部長）

農學部

部長は大杉繁博士だ、博士は本學に農學部創立された時の第一回の學部長であつた人だが、部長の椅子がどこをどうめぐつてゐたものか再び博士のところへ歸つて來たものである、博士の擔當は農學第一講座及び農藝化學第三講座分擔である

勉強と健康とエンジョイメント　大杉部長談

大學生活は最高の學生生活であり、學問的に將來の基礎をつくるところである以上、勉強の必要なことは云ふまでもないことであるが、最後の學生生活だから三年の生活をエンジョイすることもあつてよい、それでもつて將來の生活へのトレーニングと云ふ意味で、次に健康は云ふまでもなく勉強をするために必要である、私はこの勉強と大學生活のエンジョイメントと健康を入學者に對する注意としたい（寫眞大杉部長）

各學部 事務室案內

學部に入學してまづ第一に御厄介になるのは事務室だ、學生の進退萬端の世話をやく事務室を各學部に亘つて瞥見しよう……

◇法學部◇

本館の東玄關口から入ればこゝに法、經兩學部事務室がある、學內で最も多數の一千六百の學生を持つこの部の事務は並大抵でない、これを主宰するのは加藤誠四郎書記で、庶務、會計、教務には上村四郎、岸本貫一、天野敬太郎、竹內愛次郎の諸書記ほか二名があたりスムースに事務をさばいてゐる

◇醫學部◇

醫學部では毎年入學する百廿名ほか二、三、四回生を合せて約四百七十名位の學生及び卒業生の世話をしてゐるのだが、その陣容は、庶務岡村氏ほか二名、會計一名、學生主事補兼書記一名及び受附孃の寺井さんの四名である、のほか特に目立つた事務

◇工學部◇

本部構內の東部に位する工學部の事務室は赤煉瓦のこじんまりした建物だ、この中で河村主任以下庶務、會計の五名が工學部學生五百八十餘名の成績、學費及び證明書類の一切を取あつかつてゐることは何處の事務も變らないが、矢張り深刻になる就職難でこの方面もだんだん忙しくなつて來たと

◇文學部◇

文學部の入學式は來る十四日午前十時から文學部教室にて行はれる、いづれその際同學部の詳細の事は說明される筈であるが、特に他の學部と違つて注意すべき事はたゞ單に三ヶ年間に何科目の單位をとればよいといふのではなく、一定の順序を踏んで修得しなければならぬといふことでその爲に講義によく出席する事が肝要である、同學部では哲學科、史學科、文學科の三科に分れてゐるが、哲學科と史學科は、その中の細い專攻科目を二回生になる時に定めることになつて居りその規定は甚だ複雜である、事務室には主任吉田孫一氏以下親切な諸君がゐるから色々問ひ合すに便である、同學部には文學部學友會と云ふのがあるが、これは至極和氣藹々たる氣持のよい團體である

◇理學部◇

七學部のうちで學生數の一番少い理學部事務室ではあるが、教室が學內に散在してゐることゝ、大津臨湖實驗所、瀨戶臨海實驗所、木曾後流生物研究所、阿武山地震研究所、別府地球物理研究所、阿蘇火山研究所及び花山天文臺等々各地に研究所を持つてゐるので相當に忙しいとある、その上最近にはどこも就職難の出現で卒業生の心配もせねばならぬといふことだ、直接學生關係の事務としては學生の入退學の事務、成績表作成、同明會の名簿作成等である、で差當り理學部に入學して御厄介になるのは受附の吉田孃で同孃はまたタイプライターがとても御上手だ、成績その他の事務では書記の荒木氏、松村氏ほかに囑託の方が三名ある

◇經濟學部◇

事務の主任は加美谷謙一郎書記が謹嚴なる統率ぶりを示し、假谷三次、西川令吉兩書記ほか四名で庶務、會計、教務の事務をとる、就中紅一點の女性三浦貴美女史は「事務室のおばさん」として物凄い勢で受附に殺到する學生連も、こゝではおとなしく順番を待つと云ふ

◇農學部◇

農學部事務室は學部教室の入口の左側で岡田書記を主任に庶務佐々木氏以下三名、會計遠藤氏以下三名ほかにタイピストの今江孃と給仕とがせつせと事務をとつてゐるがこゝでは一般學生關係の事務を取扱ふ上に學部の四明會の事務一般を會長（學部長）から一任されて會の召集、豫算關係、事業及び決算報告、總會の召集等々なかなか忙しいとのことである、なほこの學部では年々傍系入學者があるのでこの檢定試驗及び第二次試驗があるので事務室の二月から四月までは文字通りとても忙しいさうだ

御用心

入學料遲納は除名される

四月二十日まで

新入學生は今月二十日までにまづ入學料金十圓を會計課に納付しないと、折角入學許可を得ながら除名されるから注意を要する、授業料も本月中に納付しなければならぬ

その他學友會費七圓があるがこれは強制されるものではない、併し不心得な學生があり「吾々は運動をやる譯でなし、大學新聞がもらへるだけで七圓も出すなら、一圓で購讀した方がよい」などと打算的な考へでこれを納入せぬものが多く、その爲昨年までは學友會費と一緒でなければ授業料を受けとらぬと云ふことになつてゐたが、裏には裏があるもので、授業料だけを爲替で送ると云ふ新戰術があらはれたりした

しかし今年からはこうしたいがみ合ひを捨てゝ絕對學友會費の強制をせぬことになり、學生を信賴して自發的に納入せしめることになつた、學友會當局では多くの諸君の會費納入を期待してゐる

廣告

現代法學全集

殘部僅少・限定分賣　一册一圓半　送料十六錢

穗積重遠博士曰く　一般法特別法を網羅し我國法律學の粹を盛つた大エンチクロペディ。豫期を遙に超越した完璧の成果。豫期

好機　以上專門的で同時に豫期以上實際的　隨つて專門家も實際家も初學者も老成者も夫々夫の用方によつて多大の利益が得られる！

科目	著者	收載卷數
法學入門	穗積重遠	1 2
憲法	上杉愼吉	1 2 3
行政法	野村淳治	1 2 3 7 14 28 29 37
刑法	瀧川幸辰	10 27 28
刑事訴訟法	小野清一郎	5
國際公法	立作太郎	5 平16 17 18 19 戰25 26
國際私法	山田三良	30 32 33 34 36 39
民法（總論・物權法前半）	我妻榮	1 2 3 4 20 21 22 29 30 31
民法（擔保物權法・債權各論）	末弘嚴太郎	5 6 8 9 10 11 12
民法（債權各論中契約法）	三潴信三	4 10 11 12 13 14
民法（債權各論中事務管理・不當利得・不法行爲）	我妻榮	34 37 38
民法（親族法・相續法）	穗積重遠	親20 22 27 28 31 相33—37
商法（總論）	竹田省	31 33
商法（商行爲法）	竹田省	38 33
商法（會社法）	松本烝治	13 14 15
商法（保險法）	青山衆司	21
商法（手形法）	田中耕太郎	6 7 8
商法（海商法）	烏賀陽然良	25 27
民事訴訟法	菊井維大	15 16 17 38
人事訴訟手續法	大森洪太	30 31 32 33 35
破產法・強制執行法・和議法	加藤正治	破20 22 27 強35 37 39 和32
法律學概論	田中耕太郎	31 32 33 34 35 36 38
法律講話	牧野英一	1 28 29 30 31
法律問答	末弘嚴太郎	1 2 3 4 5 30 31
判例小話	穗積重遠	3—15
勞働法	孫田秀春	1 2
鑛業法	平田慶吉	13
農業法	野間海造	28 29 30 31 33 35 37
山林法	園部一郎	6
漁業法	石黑武重	30 32 34 35 36
陪審法	大森洪太	24
著作權法	榛村專一	29 30 32 33
出版法・新聞紙法	榛村專一	出36 新34 35
調停法	穗積重遠	38
不動產登記法	杉之原舜一	19
衆議院議員選擧法	宮澤俊義	15
地方自治制	杉村章三郎	3
海法	松波仁一郎	16
治安維持法	三宅正太郎	37 38
暴力行爲等處罰法	池田克	4
行政裁判法	美濃部達吉	9
特許法・商標法・實用新案法・意匠法	安達祥三	特31 32 34 實35 商35 意36
信託法・信託業法	三淵忠彥	24
取引所法	岸信介	23
銀行法	入江昂	17 19
稅法	星野直樹	23
保險業法	南正樹	23
產業組合法	孫田秀春	28
電話に關する法律	藤原保明	7
裁判所構成法・辯護士法	長島毅	裁12 8辯
競賣法	岩松三郎	32 37
非訟事件手續法	中島弘道	12
少年法	岩村通世	6
會計法	廣瀨豐作	11
社會行政	藤野惠	28 29
土地收容法	武井群嗣	25
道路法・都市計畫法	丹波七郎	道8 都27
教育行政法	武部欽一	27
衞生行政法	山田準次郎	25
瓦斯事業法・電氣事業法	遠藤後一	14
鐵道營業法	佐竹三吾	11
擔保附社債信託法・工場抵當法	栗栖赳夫	社23 工5
地方稅法	田中廣太郎	9
健康保險法	清水玄	21
寄留法・戶籍法	鬼頭豐隆	13
河川法	岡田文秀	24
行刑法規	正木亮	15
法制史	三浦周行	22

圖書目錄進呈　東京京橋三丁目　**日本評論社**　振替東京一六

文藝時評

出版紀念會と「左翼の陣營」

千葉龜雄

一

私は、板垣直子夫人の「文藝ノート」の出版紀念會から、歸つて直ぐペンを執つて居る。出版紀念會は、今では、どこにもポピュラアな社交風景となつたが、やはり東京が、數の上でも、種別でも、ナンバア・ワンであらう。ついこの一ケ月ばかりでも、これは出版紀念會ではないが、與謝野寬氏、河東碧梧桐氏の還暦祝賀會——與謝野氏の場合では、氏の短歌全集の出版紀念を兼ねる。河東氏にも同じ意味があつた——長谷川伸氏の「瞼の母」祝賀會——これはおよそ、時は昭和とも思へぬやうな時代的な、朗らかなロマンスではあつたが、それでも、氏の作物が四十七卷になつた祝ひを兼ねたものであつた。それにこの「文藝ノート」の會。またこの廿八日には葉山嘉樹君の全集出版會があるといつたわけで會ごとに、會の主人公をめぐつて、集圍するサアクルも違へば、色彩も違ふ。會衆も違へば、美味求眞の價値にもそれが影響する——長谷川伸君の司會者松崎天民君が、名幹事振りを發揮し——帝國ホテルの料理も、一向旨くないし……といつた挨拶で、聽ゐるホテル側を、いろにノックダウンしたなどの愛嬌もあつたりして——集圍する人々の集會する目的も、理由も、自然テイブル・スピイチの内容も、様式も違ふ。といつた雜然たるヴァライティが、それ自體、いつとなしに、統一された渾然たる雰圍氣をつくるところに、かうした記念會獨自の個性があるから妙である。文壇考現學の材料なら、出版記念會へ差しあたりレンズを向けるのが一番の捷徑それに、かういつた會で目につくのは、花のこぼれるといつても、すがれた花ともいへない程度の女性もゐるにはゐるが、若、老の女性達の出席者が、會ごとに、とても多數になつて行く。それだけ文壇における女性作家の進出と、同時に、女性の無用な羞恥性を、清算しつゝあることを後約しつゝある。

ラフカデオ・ヘルンが、どこかで、文筆者のソサイテイの有害無益を指出したにかゝはらず、また出版紀念會が、ある場合には書店のあまりにも露骨な、廣告意志の示揚であるにかゝはらずまたそのテイブル・スピイチが大抵の主人公に顔を赤くさせるほどの　誇大な讃辭頌語の羅列であるにかゝはらず、それ等を差しひいても、今まで、孤獨と孤高をしがない慰めにしてゐた文壇人に、集團本能としての社交性に目ざめしめる若干の價値が無いとはいへない。少くとも、個々の文學史的素材としてわれ等の文壇觀戰者には、それぞれに時代文壇の、明流暗流を暗示する貴い價値にはなる。史料にもなる。

二

四月の雜誌に現れた作家の顔觸れを見ると、雜誌編輯者の努力がまざまざと同情される。一度は、過去に葬られてしまつたかと思はれた既成作家達が、墓場の中から續々と發掘されて陳列され出して來たと同時に、目ぼしい新人を拾ひ上げようとする苦心も一通りや二通りでない。中に介在する新興作家(ブルジョア級の)が、かへつてスランプに陷ちてゐるといつた情勢も一應は觀察されぬでもない。中央公論の、藤村、多喜二、鐵兵、民樹でも、「改造」の、光治郎、清、弴、一、春夫の排列でも、その外「文藝春秋」の萬太郎、一、「經濟往來」の浩二、竹二郎、和郎等でも、これだけで文壇の主流を求めようとなると、とんと見當がつかない。無論、この渾沌状態にこそ、將來の創成が孕まれてゐるのではあるが——それに、評論壇は、室生犀星、宇野浩二、里見弴、正宗白鳥等が、いふところの内在批評で、社會環境の進勢とはあまり掛け繋ひのない、個性的な、氣のいゝ人生鑑賞をのんびりと展開させる。坪内逍遙博士が歌舞伎診斷、永井荷風が、カフエイの女給代(と言はつてある)お民とやらの脅迫に逢つて、「共産主義の餓鬼」だなどと悲鳴を擧げる段になると、いくらファッショ時代にしても、どこへ行つたものかと怪しんで見たくもなる。大まかに分類すれば、既成前期文壇と、左翼作家と、少數の前線藝術派が、創作界を構成してをり、評論界は、左翼の雜誌以外では、ブルジョア老作家達が、勝手に羽を伸してゐる。四月の創作界には、これと言つて際立つた作物がない代り、思切つて投げやりでないだけの快さはあつた。

宇野、里見、久保田氏等も、懸命に内容と取組んで居るだけは買ふが、いつまでも、同じ地表に足踏みしてゐるのは能ではあるまい。「求心力」なんて、里見氏らしい勿體ぶつた命題だけで、求心どころか、かうした題材は、氏からは、およそ遠心的な存在なので、技巧ぐらゐで、救ひきれない内胞の分裂があることに氏は氣付いてゐるだらうか。廣津和郎氏の「古風な戀物語」も、ルウズな創作心境を反映する以外の何物でもないし、佐藤春夫氏の「危機」には、どんな素材にも、危な氣のない、また通俗性に踏み込まない程度の純粹性は見せてくれるものの若々しい詩の熱情から枯れたのは淋しい。芹澤光治郎氏の「橋の手前」は、左翼運動には概念的には同情しながら、病弱な小説家であるこの主人公は、「橋の手前」で傍觀する外はないといふのだが、こんな世界觀では、橋の手前はないでせう。インテリの因循性や氣弱さは公式としても、せめて生一本の正直さだけは失したくないものだから世智辛くなつたインテリは困る。嘉村礒多氏の「父の家」氏の作物の好さは自分だつて解らぬではない。たゞ、二十年前の自然主義時代に、散々見せつけられたかういつた個性的作物が、まだ評判を盛り返してゐる昭和の文壇を「どうかと思つてゐる」だけの話である

それに比べれば、左翼作家の陣營が、やはりそれぐに努力もしてゐるし、今月などは、創作市場を二分した形にもなつてゐる。たゞ「文藝春秋」の須井一氏の作物はあまり良い出來榮ぢやない、あるタイプの作家のやうに、自分だけが向きに興奮して、讀者を意識しない場合の作境と反對に、氏には、氣が好く親まれる明快性がある代り、哲學的な叙述や幼稚な修辭、警論が、嫌笄いやうに苦にもなる。細田民樹氏の「裏切者」はなぜ、あんな風に見得ばかり切つてゐねばならぬのか。作家がせいぜい息を切つてる反比例に、讀者は態とらしい空虚感を強制されるだけ、損な話であらう。堀田昇一氏の「モルヒネ」は、異常な世界を取扱つて素直にのびのびした叙法は効果的だが、それを「階級鬪爭の坩堝」まで結び付ける機縁とどんな交渉を持つのか、はつきりしない。須井一氏の「城砦」と鈴木清氏の「火を繼ぐもの」「城砦」は、記述がごたごたしてゐるのと源三を意識して拵らへ上げようとする態とらしさを除いては、部分的に立體的に光つてゐる「火を繼ぐもの」は、構成にむらはあるが技術としては女人過ぎるほど。故に小林多喜二氏の「轉換時代」こそやはり光つてゐる。氏の△△のやうに、みじめな削除で、一寸讀むと手がつけられない斷片の綴り合せであるが、それにかゝはらず、そのブランクが、ブランクでなく有機的に讀み通し得られ、情熱がさすがに成熟して來た氏の技巧の力であり、いな、それ以上に、氏のつきつめた無産派作家意識の、偉大な完成を語るものであらう。

谷崎潤一郎氏の「藝について」は、氏の藝への精進過程の語錄として、氏でなければ聞かれない光榮は持つてゐるのであるが、階級思想や鬪爭的氣分を植ゑ付ける文學について「世相を險くすることばかりが果して藝術の職分であらうか」と疑つたり「現代の藝術家が、抽象的な議論よりも「藝を貴ぶ」昔の藝人のやうな、謙抑な心持ちになつてはどうか」などと高唱し、文學と藝とを峻別したりする心境になると、どうもついて行けない。文壇時評で、宇野、廣津、室生氏が、くり返して悲鳴を擧げてゐる純文學の食へない問題も、ジアナリズムの商業性が幅を利かしてゐる現代には、適切な提案には相違ないが時代性を喪失した純文學も、食へない主因の一つになる必然性はないであらうか。そこにも或る考察が殘されてゐるやうに考へられる。

金蘭簿(九)　雪から花へ

早瀬讓

霜どけのほたほた溶けて流れたり雪の汚れの赤ら寂しき

束の間の曇りに散れる雪花の消ゆらくは惜し軒の樅葉に

雪消えの雫たもてる庭樅光り沈みて暗し綠葉

竹林をぬけて明るき山の道日てる櫟の落葉踏みつつ

雨晴れの晝見に來し梅林の下地に草のみどりいきほふ

冬の間を凍りし土のほろほろに崩む物の芽うづもれてあり

作道の乾土に咲ける蒲公英のいぢけ小花はポッチリ小さし

野の道にいつまで遊ぶ幼らの摘みたる花は日に萎れつつ

水ぬるむ小田に孵へりし蟇の子の夥く見れば影をもちつつ

逃げゆきし小蛇のあとは染畠のむせぼつたくも匂ふ醉けさ

新聞記者と四月馬鹿

名和岩内

1

今の時代にジャーナリストつて言葉は一種侮蔑の意味を含んでゐる。僕の在學中にも屢々耳にしたし、僕自身屢々口にしたことのある言葉だ、こともあらうに卒業後、飛び込んだところが、このジャーナリスト・ピレヂ！就職祝ひの數多くのお世辭の中に、次のやうな痛快な——その當時は寧ろ戰慄を覺えさせたやうな一通の葉書がまぢつてゐた

> コンチキショウ！こんど見付けたら、たゞぢやおかねぞ、二十五日を警戒しろ！

二十五日は月給日だ、さてこの不愉快極まる祝言葉を戴かねばならない破目をみた理由は？發信人が惡い、二年前にすでに新聞記者になり終せた光榮ある呑んだくれだつたのだ、(こゝで斷るが、呑んだくれといふ言葉は、惡意に解釋する方があつたら大間違ひだ、それは愛稱の一つだ)彼も亦、世紀末的明朗さの故に、泣き笑ひを繰り返しつゝある天晴れ、ジャーナリストだつた、當時學生だつた僕は、(寧ろジャーナリストで無かつた僕は、といふべきだ)彼を摑へては口が酸つぱくなるほどやつつけたもの「君は要するに、ジャーナリストさ」つてね、だからこそ、前記のやうな凄い祝言葉を頂戴すると、まるで田舍者がトロリバスに初乘りした時のやうに、いやにセンチに、心細くなつたものだ、しかし皆さん！人間つて奴は何處までも己惚の強い者で「僕はジャーナリストぢやない、レポーさ」なんて怪し氣な、胡麻化しを言ふやうになつたのだ、尤もそれは僕一人ぢやない、先輩諸、皆さうなんだ、尤も始末たつぷりの、機會あらば超特種をヒットしてやろつてな、變な英雄主義を胸の底にじつとしまひ込んではゐるのだといふのも組織即ち形式が不可思議な力を包藏してゐるものだつてことを、よく證明するものだらう皆が皆、入社して一年經つかたらずで、何時の間にかニュースに對する反射的な嗅覺本能を培養されてゐるのだ、從つてお茶の時などには、いやに認識したやうな口吻を漏らす奴も、一度耳寄りなニュースを摑へたりすると、何時の間にか物凄い活躍をおつ始めるのを自分自身どうすることも出來ない「拔く」その後の清々しさ！その痛快な戰勝心理が、彼をさうさせるのだ、そこに、この時代の生れ合せが、惡かつたとでも言つて獨り慰める餘地を發見する、この故にこそ新聞界は依然王國を構成するのだ

2

新聞記者生活！借金とポーカーと酒と、夏冬の二着しかないボロ服、泥靴、得體の知れぬ鋭敏な目玉と、さへあれば誰でもやつてける(よくアメリカ映畫に出てくるやうなシックな、ハンチングとダブル・プレストのカタログみたいな奴は、非常時日本にまづ無いとみてよからう、あつたら女たらしさ)けれども僕の體驗の一端を紹介して、記者生活と四月馬鹿との因果關係を知つて戴かねばならない、入社第一年の最初の失敗はことごとくこの四月一日に始まつてゐるからだ、僕の最初の受持は大阪驛とS署とT署だつた、まづ平和な暫時がつゞく、そこで因果は四月一日、忘れるな四月一日！かねて先輩に敎つてゐたエプリルフールの當日だ、新米だなんて呑まれてちや何を喰はされるか判らない、といふ譯で、夕刊締切三時過ぎ僕は突然、S署記者室を飛び出したのだ、後に殘つたのはM社のT君とJ社のS君二人、不安な疑問符を二人に殘しておいて僕はT署へ馳けつけると、早速電話でS署のI君を呼出す「何をボンヤリしてるのさ、自動車が川へ飛込んで女客瀕死だ！」二分後にI君は息切らしてT署へ馳け込んで來たのだ「四月一日！」見事やつゝけた、するとI君が今度は後に殘つたS君を呼出す「今、天六の交叉點で事故があつて、小學生三名瀕死重傷」さうで無くても僕、つゞいてI君が慌しく飛出した後だ「さうか、行くぞ！」S署を飛出して、とんでも無い天六交叉點へ自動車を飛ばしていつた、派出所の巡査が「事故なんか無いぜ、二人とも來とらん」と豆鐵砲喰つた鳩みたいにS君の顔を凝視してゐる頃、J本社へ電話がかゝつてゐる「今日は四月一日ですねつてS君に言つといてくれ給へ」まづこれで……と氣を好くしたが、その夜だ、何時もの調子で、大阪驛名士來往を「君濟まんが敎へてくれ」つて二人に頼んだのだ、その中に飛んでも無い「大阪發九時廿五分小泉前[illegible]」つてのがあつたかな、怪しみもせず社へ電話したのだが、急だと氣付いた時は遲い、社ではこんな大物を取逃したつてんで大騷ぎしてゐる、「いやエプリル・フールで」で部長には濟ませない、大目玉を喰つたのは勿論のこと

3

新聞記者と酒は一體だ、毎晩十二時に仕事を濟むと、惡友相誘つて飲み始め、早くて午前三時、酒場のソファで前後不覺徹宵したのも珍らしくない、醉うと門札を蒐集したがる質の惡いのがあつて翌朝枕元に山積した門札のやり場がなく、わざわざ神戸に近い尼崎の沖合へボートを漕いで始末して來たといふ極秘話もあるが、こいつは僕のことでは斷然ない、しかし一滴アルコールは記者の石炭だ、入社當時先輩について方々飲み歩いた揚句が、結婚した今日まで、時々醉つてゐて、飛んでも無い醜態を演じたりする、この間も、結婚して二月にしかならない戀女房が心配して驛近くのおでん屋を一軒一軒探しに來たこともあつたが、この調子だから月末は決つて慘憺士で、お通夜みたいに、女房の泣きごと聞かねばならないつてことも無いとは言へない、しかしこいつは僕のせゐでは無い、綿希の遺傳か？

4

京都出身の僕の社の先輩、高原編輯局長が筆頭皆が皆傑物揃ひ少々中心を外れかけてゐるやうだが朗かに僕らはさゝやくのだ「高原さんみたいに出世せんでもいゝから、せいぜい仲好くしようよ」誓つて入社してくれ給へ！

ナンセンス世界一周

松井阿岐良

(上)

「では行つて來い」といふことになつたが「早く歸つて來ないと月給を召し上げられるぞ」と威かされて、どうしても途中の時間を倹約する外なく斷然シベリア經由と腹を決めた。新聞は馬占山叛亂をデカデカに傳へてゐるが東支線不通とは書いてないからツーリスト・ビユーローに行つてベルリンまでの切符を賣つて呉れといふと「ハルビンの店から當分通し切符は賣らないようにといつて來ましたので……」と斷られた。

そこで早速ハルビンへ照會電報、其返事は「東支線は通つてゐるが軍部では生命を保證しない、大丈夫だと思ふが多分の危險性がある」これでは何のことやら解らない。とにかく奉天まで行くことにして出かけたがアチコチ道草を食ふつもりだつたところ、立ち寄つた先が不在だつたり、下車するのが億劫になつたりして丸一日早く奉天へ着いてしまつた。

早速驛前のツーリスト・ビユーローに行つてベルリン迄の切符を賴む。矢張りハルビンから先は賣らぬといふだが危いのはハルビン、チチハル間だから、奉天から四洮線、洮昂線を經てチチハルに出ればいゝわけで、さういふことに決めて二等をたのみ大和ホテルに入りその帝綱ビユーローへ行くと「御依頼の二等は無いから一等のコンパートメントにした、ハルビンやマンチユリーに何度も照會電報を打つた」といふ返事で約七百圓拂はされて漸くマンチユリー、ベルリン間の切符を手に入れる。チチハルまでの切符は別に手に入れたがチチハル、マンチユリー間が無い。その切符と寢臺券を賴んだところ「ハルビンへ云つてやりませう」といふ返事、どうも賴りない。

奉天は前年より餘程安定したと聞いて人力車に乘つて見物して歩く、言葉が通じないのでアッチへ行けコッチへ行けと指で指圖するうち迚もきたない町に出る。どうも場末の感じだ「奉天紡紗廠」と白字で記された大煙突が立つてゐる。誰かに聞かうと思つても先程からずつと日本人の姿を見ない。支那人の巡査と喧嘩したが一向に通じない。急にゾッと不安になる。そこで又指で指圖しながら注意深く元來た道を辿りやうやく記念碑を見つけてホット安心。會社のオフイスへ行つて「先刻紡紗廠と書いてある所へ行つた」といふと社員の面々馬鹿に驚いたやうな顔をする「何で驚くのだ」と聞くと「君あそこは皇姑屯といつて、昨日も日本人がやられた所だ、よく無事で歸つて來た」といふ。さう聞いて襟に寒さを覺ねる。

シベリア鐵道の食堂は馬鹿に高いと聞いて京都から食料品を持參し、湯沸しに固形アルコール迄調へてゐた。ホテルで念のためアルコールに火をつけて湯沸しをかけて見ると、湯沸しと火との距離が短かすぎて直ぐ火が消えてしまふ。「これはいかん」と湯沸しを買ひ替へるとにも、オフイスから買物に出る、後からついて來る者がある、見ると社の若い人だ。「あなたはどちらへ行くのですか」と聞くと「御一緒に」といふ「構ひません」といふと「お伴しろといふことでしたので」といふ返事、オヤオヤこの日本人町の町中に何の心配があらうさてはまた皇姑屯へでも行くと思つたものか？餘りの御親切、だが有難いことだ。

外務省の留學生が三人シベリア經由で行くと聞いてゐたので、同行を約してゐたが一體いつ奉天に着くのかちつともわからない。二日間續けて大連から來る汽車へ迎へに行つたが降りない。どこかで一緒になるだらうと、マンチユリー發の國際列車に間に合ふやうに、新たに出來た奉天仕立て、チ、ハル行列車に乘る。席を定めようと車中を歩いてゐると日の丸のマークを貼つたトランクを持つてゐる人が俯いて何かしてゐる。このマークはオフイシャルの印だ。うしろ姿に見覺えがある「君」と呼ぶと「ヤアで」と期せずして外務省の一行と一緒になる。

一夜明くれば洮南、午後大興、江橋の古戰場を過ぎる。再遊の地であるが塹壕や墓碑や日本兵は目に新しい、チ、ハルに着いて昂榮館で休憩故井杉延太郎曹長の墓を弔ひ午後九時驛に出る。マンチユリーまでの切符と寢臺券を買ふように豫め宿の者に賴んで置いたが驛の方で時間前でなければ賣らないのでどうにもならない。出札口に人がずつと並んでゐる。二等と寢臺とを呉れといはせると「無い」といふ「ハルビンから何かいつて來たか」と聞くと「知らぬ」といふ「では二等切符だけ」といふと「三枚しか無い」といふ。一行四人なので甚だ都合が惡いが自分だけ一等を買ふ

It Seems to Me

S.K.D

△ アプトン・シンクレアが最近素晴らしい大作を發表して、米國文壇を再び震駭さした。實はまだその本を手にしてゐないので ほんの噂の聞き書に過ぎなくて殘念だが表題は「ウイリアム・フオックス」(William Fox) 映畫の形式を採用して廿九卷にプロローグとエピローグがついてゐる。發賣元は例によつて、ロサンゼルスのアプトン・シンクレア出版所、値段は三ドル。

ウイリアム・フオックスといふのは勿論、フォックス映畫會社の創立者であるあのフオックス。このフオックスといふ人は米國でも最も代表的な産業資本家の一人で、ニューヨークのイースト・サイドの貧民窟から裸一貫で飛び出して、折柄勃興期の資本主義の波に乘つて、事業といふ事業に手をつけて巨萬の富を積み、遂に映畫王となつてハリウドに君臨するに至つて、得意の絶頂に立つた所を、金融資本家の憎しみを買つて眞綿で首のヒドイいぢめられやうをして、轉落また轉落、とうとうもとの木阿彌になつてしまつたといふその一代を描き出したのがこの映畫風物語だ。政治家と金融資本家との醜關係の全面的暴露と、産業資本家の無益な抗爭の描寫がこのメロドラマの使命だとシンクレアは言つてゐる。出てくる人物は、フーヴァ前大統領、ヘンリ・フオード、ロックフエラア・ヒューズ、米國第一の民事辯護士ウンテルマイア等々

以上の概要で解るごとく、この作品はまさに米國の「眞理の春」とも言ふべきもので近頃是非讀みたい本の一つである、この作品においてシンクレアはウイリアム・フオックスといふ産業資本家に明かにある種の同情を表明してゐるに違ひないが、その同情の現はれ方如何によつて、シンクレア自身のイデオロギを知り得る點において、更にこの作品は興味津々たるものがある

△ これは朗らかな話題だ。英國のヨーク大僧正といふのは有名なフエミニストで女權擴張運動一方の旗頭であるが、その大僧正様がこの間上院で演説なされたことがふるつてゐる。「今日女子は漸く男子と同じ地位を得ては來たが、まだまだ差別待遇があるのは余の深く遺憾とする所です、例へばですね、男子は死刑になるが、女子は死刑にならない、これは女性に對する大なる侮辱でありますぞ」

この演説、平塚雷鳥女史にでも聞かしたいね、霞へあがるだらう

現代經濟學全集

限定分賣・殘部僅少　一冊一圓半　送料十六錢

各科目を擔當するに第一適任者と定評ある一流學者の緊密なる協力による集大成　法科大學の開放を標語として學界空前の偉業を達成し聲譽赫々たる現代法學全集の姉妹版　別巻產業叢書は日本經濟實體の解明

書名	著者
經濟學總論	土方成美
經濟原論	小泉信三
經濟學原論	河田嗣郎
マルクス經濟學	高畠素之
歐洲經濟史	本位田祥男
日本經濟史	本庄榮治郎・黑正巖
經濟學史	高橋誠一郎
社會政策原理	河合榮治郎
社會問題各論	林癸未夫
貨幣論	橋爪明男
貨幣制度總說・各國貨幣制度概說	高垣寅次郎・荒木光太郎
銀行論	高垣寅次郎
景氣變動論	高田保馬
金融論	牧野輝智
農業政策	那須皓
工業政策・交通政策	小島精一・增井幸雄
商業政策	上田貞次郎
財政學	神戸正雄
保險學要論	小島昌太郎
統計學	汐見三郎
商業問題(商業概論・物價問題・取引所論・外國貿易論)	內池廉吉・河津暹・向井鹿松・金持一郎
植民・人口・土地・經濟政策	永井亨・河田嗣郎
會計學	高瀬莊太郎
經營經濟學	中西寅雄
日本經濟圖表	猪間驥一
世界經濟圖表	猪間驥一
本邦貨幣制度改正論・限界効用學說史	山崎覺次郎・アルフレッド・アモン
世界恐慌	上田貞次郎・高垣寅次郎・東畑精一・永雄策郎
賠償問題	增井光藏
世界恐慌とブロック經濟	蠟山政道

現代產業叢書

- 農業・鑛業編(農業・林業・水產・石炭・石油)
- 金融・保險編(銀行・外國爲替・生命保險)
- 商業・交通編(外國貿易・取引所・海運・鐵道)
- 工業編 上卷(電氣事業・製紙・窯業・製糸・糖業)
- 工業編 下卷(紡績業・瓦斯・鐵鋼・造船・麥酒)
- 世界產業大觀

圖書目錄進呈　東京京橋三丁目　日本評論社　振替東京一六

昭和八年入學生

[redacted]

京の春

春雷を聞いてからもう半月、加茂川端の柳の芽をあふる暖かい南風に、いつしか洛北の山々の雪が消えて春が訪れ來り、比叡山から吹くたびに鳴き移つて來る小鳥のこゑも何となく朗らかだ、かうした京都の春の

＝錦繪＝ はまづ圓山の糸櫻のクローズアップから――

僅一つ晴れぬ日はなし京の春 と詠まれた東山三十六峰の麓に、春を迎へた時々では[illegible]

で催され、これに押しかける善男善女の群れは、まことに古都の花時に相應しい情景をそへる、何佛上人の句に「[illegible]」と言ふのがあつた[illegible]にマーンと響き出す鐘の音は、シヨウ術もときにいへば全く「ワンダフル」なものであり、或は婦人に連れられた舞妓の振袖、衣裳も、ボーツと頰先きのあかいモダン娘のピチピチした花姿も、共に明るい臘春の繪に添へた風景畫そのものである

一方市内では花時に因んだいろいろの催しものがあるが、わけても

＝都踊＝ が一日から祇園の歌舞練場で催されば、いやが上にも絢爛の春を奏でつづける、かくて京都の春は、吉田山の櫻の蕾に、蒼白な新芽がもりあがるころまで、文字通りの花・花・花…人・人・人……

かうした京の櫻もその開花期は、例年ならば大概四月の十日頃といふことだが、今年は[illegible]しかつた陽氣の決まりを待つて、稍遅れさうだとのことであるが、それにしても十日も過ぎれば何處も滿開見頃となることは疑はれない

市内での櫻は――

清水寺 音羽の瀧水が、西大谷の方に流れ下る深い谷間をうめて開花する櫻は色とりどりの櫻花を、舞台から或は谷間から眺める

圓山公園 何といつても京の櫻を代表する糸櫻だ、夜櫻の賑ひは地の利を得て又格別である、明るく照明した櫻館へ[illegible]、公園の散歩道に、燃ゆる篝火のそばからボンボリのそばから眺められる

動物園 岡崎の疏水道の櫻から動物園あたりの櫻は疏水、インクラインを挾んで[illegible]でまへある、園内に咲く櫻はことごとく染井吉野櫻だ

平安神宮 內苑の紅枝垂櫻は[illegible]年一定期間を限つて一般に公開される、この外市内には「御所」「平野神社」「植物園」等々見るべきものが多い、少し足をのばして

＝郊外＝ に出れば、更にまた多くの櫻がある、先づ

嵐峽 保津川の清流に臨んだ右岸の山に咲きほこる櫻、この花この水はまことに古來の景勝である

御室 ここの御室返し櫻は開花が一般より少し遅く、滿開は二十日を過ぎるであらう

又俗に花の寺といはれる勝持寺は向日町にあり、山科には「醍醐寺」の櫻がある、一山越えて近江路に入れば「長良公園」「日吉神社」「石山寺」等々、詩のうみ、湖畔櫻をいだいて岸をいろどる九十の觀光ば、[illegible]風靡する[illegible]

本學略史

本學は明治廿九年第九議會の協贊を經て、翌三十年勅令第二百九號を以て設置せられた、時の文部大臣は西園寺公爵で、創立以來の[illegible]くれば左の通りである

▽明治三十年　六月文部省専門學務局長法學博士木下廣次總長に任ぜられ、九月理工科大學開設の運びとなり、土木工學科、機械工學科を開設した

▽明治三十一年　六月理工科大學に數學、物理學、純正化學、製造化學、電氣工學及採鑛冶金學の六學科を設けらる

▽明治三十二年　九月法科大學及び醫科大學を開設し法科大學に法律學科、政治學科、醫科大學に醫學科を設置せらる

▽明治三十三年　七月第一回卒業式擧行

▽明治三十九年　九月文科大學を開設し哲學科、史學科、文學科を設く

▽明治四十年　七月理工科大學教授理學博士久原躬弦總長事務取扱を命ぜらる、十月岡田良平本學總長に任ぜらる

▽明治四十一年　八月理工科大學より理學部を分割し、これに數學、物理、純正化學科を設く

九月[illegible]本學總長に任ぜらる

▽明治四十五年　五月理工科大學教授理學博士久原躬弦總長事務取扱本學總長となる

▽大正二年　五月東北帝大總長澤柳政太郎本學總長に任ぜられる

▽大正三年　七月理工科大學を分離し工科、理科大學を開設、工科大學に土木工學、[illegible]採鑛冶金、工業化學各科を設く、八月東大總長山川健次郎總長に兼任さる

▽大正四年　六月醫科大學教授醫學博士荒木寅三郎本學總長となる

▽大正七年　十二月大學令公布

▽大正八年　二月法、醫、工、文、理科大學は各々學部となる、五月經濟學部を開設する

▽大正九年　九月工學部に[illegible]科を設く

▽大正十一年　二月本學記念日を六月十八日と定む

▽大正十四年　四月本學記念日の外に五月第三日曜を本學祝日とす

▽昭和四年　三月總長荒木寅三郎辭に依り退官、醫學博士新城新藏總長に任ぜらる

▽昭和八年　三月總長新城新藏辭に依り退官、文學部教授小西重直總長に任ぜらる

(一流會社製品一割引)

御卒業生には

特選ソフト

春裝にはゼヒ……

シツクな青年紳士向ソフト

京大共濟部指定

御入學にはゼヒー

マルニ帽子店

京都市熊野神社北入西側　東伏見　出張所

同　伏見區下油掛町

同　百万遍帝大裏門前

御研學の功空しからず光輝ある最高學府の帝大に芽でたく御入學遊ばされた趣き謹みて御祝ひ申上げます

三十有餘年の經驗知識ある職人の入念な技巧になる

型ご品質に於て

斷然優秀なる

マルニ特製　指定角帽

SPECIAL　五圓　B　三圓五十錢

EXTRA　四圓五十錢　C　三圓

A　四圓　D　二圓五十錢

地方より御注文は代金引替にて即決致します

京都帝國大學　学友會共濟部　指定洋服商

新入學諸賢の制服は共濟部指定商で

PRICE CARD

A號黑セル制服上下	¥.25.00
B號黑セル制服上下	¥.23.00
C號黑セル制服上下	¥.21.50
レインコート	¥.13.00ヨリ
合オーバ	¥.30.00ヨリ

LONDON STYLE

合名會社　長屋洋服店

本店　京都寺町通丸太町下ル　代表電話上(3)四六三番　振替大阪二一六七番

支店　婦人子供服店

出張所　京都市下鴨上河原町　電話上(3)五七四四番

合資會社　上木堂洋服店

出張所　京都帝國大學北門前角　電話上(3)三九七二番

本店　京都丸太町通河原町東　電話上(3)一九一六番　振替大阪八二七二番

有本洋服部出張所

出張所　京都帝國大學北門前　電話上(3)二六二七番

本店　京都三條御幸町角　電話本局(2)二二九番　二二八番　振替大阪五六七七番

海外支店　英國ハダースフィールド市　佛國パリー市サントノーレ

世は春ながら 花をよその就職戰

ふたたび學部をめぐつて その戰況をきく

その紙一枚がいくらにつくか……などと叡かれながらも、とにかく卒業證書を握つては見たが、さて嗚呼の叫びを上げて第一歩を踏み出すべき就職戰線は、學士様だと兩手を擴げて食はして呉れたのは昔の夢、過去數年に亘る就職地獄は、まづなごやかなインフレ景氣にあふられ、滿洲國のあけぼのは、大量申込の觸手をさしのべ、非常時日本とその膨大豫算の編成は、やがての軍需品をはじめ各種產業の伸展の豫知等で、いくらか緩和され、法、經、工、農あたり昨年に較べてかなりの賣れゆきを示してゐるが、まだ／＼さく花をよそに、就職狀と面會とに日を消す未就職學士様の多いことよ、再び各學部を廻つてその狀況をきいてみると……

法學部

就職の途は法學部事務室への求人申込は近年まれな成況を呈してゐるがその後の申込を見ると左の通りである

三菱銀行（一名）產業組合聯合會（若干名）勸業銀行（各大學、專門學校を通して十一名）滿池信託（一名）滿鐵（帝大法科を通じ十一名）農林省（若干名）大同生命（一兩名）日本生命京都支店（若干名）日本生命大阪支店（若干名）

決定者二十數名もあるありさまで個人で就職してゐるものを加へれば相當の數に上るはずである

住友銀行（確定一名）三菱商事（法經一名）日銀（二名）京都商工會議所（二十三名）內務省（若干名）大藏省（同）遞信省（同）產業組合中央會（若干名）農林省（同）商工省（同）日本無電（同）滿洲國（同）北海道拓殖銀行（若干名）日本生命（確定一名）大成火災（確定一名）三菱鑛業（確定一名）富士商店（確定一名）野村證券（確定一名）三井鑛山（確定一名）勸銀（確定一名）十五銀行（確定一名）興銀（確定二名）大同生命（一、二名）淺野物產（確定一名）安田生命（各校を通し八十名）

經濟學部

經濟學部事務室への求人申込みは昨年より倍加してゐるが一月中旬以後左の如く多數に達し、すでに

おらが春を たゝへる農學部

農學科 卒業生二十四名の多數を擁する農學科ではその採否の程は今の處未定にせよ既に採用を申込んできてゐる所は官廳方面では農林省の米穀部庶務局の各若干名を初めとして全國購買組合聯合會若干名、農林省農事試驗場（西ケ原）の若干名といつた具合で、その他中等學校や農林學校、教室に殘る若干名を加へて夏頃までには全部片付く見込み

林學科 十三名の卒業生を出す林學科では現在までの求人申込は數人あるも未だその採否は決定の運びに至つてゐない、其他中等學校教員、朝鮮、臺灣、北海道、樺太等の林業關係の諸官廳へも就職する豫定で、去年との比較からいへば幾分よくないらしいがそれでも卒業生の割當てに困ることはないらしい

農林化學 官廳方面としては西ケ原の農事試驗場の一名、官廳外としては日本レーヨン、肥料會社、醸造試驗所その他の五名は既に決定濟みとありその他農林省以外の官廳からも採用方を申込んできてゐるのが一―二あり尚大學院に入學する者も三―四あるらしく今度化の教室には「我世の春」の氣分が濃厚である

農林工學 卒業生は例年七、八名昨年は全部農林省關係へ就職した、又從來朝鮮總督府、土地改良株式會社等からも採用を申込んでくるのが二、三あつたが最近米穀統制の關係上該地方における農業土木の事業が不振の爲め、かゝる方面への卒業生の進出は、自然はばまれる結果となり、僅滿洲方面へのはけ具合も面白からざる狀態にあるので、四月中旬に行はれる農林省採用試驗が殘された唯一の目的物視せられてゐるかその就職比率は割合に樂觀されてゐる

農林生物 卒業生は八人あるが採用の申込みが絕えてなく、又今後も絕對になからうといふのだ、猛烈なセーションによつて一、二名でも押しつけ得たら上々、殘りの

農林經濟 政府の施政方策、農村經濟更生事業の進展等、大部分は教室に殘つて研究を續けることになるらしく、ひとつころの農業試驗場や大原農業研究所等からの申込みは今は昔の語り草になつてゐる

抜、米穀法關係、自作農創定等の關係の事務家を供給するこの科には大きく、二十六名の新學士のうち十三名は既にきまつてゐると云ふありさま「昨年の今頃はまだ一人の決定者を見なかつたのに較ぶれば今年は斷然好成績だ、この學部では一番よい方じやないか」と橋本主任教授はほがらかに語る、就職先をきくと府縣廳の數名を筆頭に滿洲國大同學院に二名、勸業銀行、農工銀行、各種產業組合、新聞社等、なほ橋本教授は「この科では九月の新學期から座談會を開いたりなどして學生とともに注意を拂つてゐる、現在の未就職者十三名も五、六月頃には全部決定するだらう」とおつしやる

サラリーはよいが 口が少い中等教員

伊津野囑託の運動に 希望をかける文學部

文學部では新卒業生就職斡旋のため囑託伊津野氏が、一月半ばから東海道、近畿一帶の各府縣の學校を巡つて運動してゐるが依然として全卒業生の中就職したものわづかに二割を出でないと云ふ有樣である、賣れ行き先は主として中等學校であるが、夫もこの不景氣の際とてむしろ整理されてゐる程で容易に口があるわけでなく、缺員があつても同一府縣內で融通するので、京大からの割込みはかなり困難の樣子である、サラリーは中等教員だけに初任給が法經に比して甚だ高い、一般に九十圓から百圓だと云ふからすばらしいものであるが、しかしその後はなか／＼昇給しない、賣れ殘りの人々は大學院に殘るものが多い

好景氣の筆頭は 採鑛冶金の百%

他各科も春風駘蕩の工學部

土木工學 新卒業生三十名中、三月末までには半分決まる豫定で、昨年度は、失業救濟などで全部それまでの未就職の人が方づいたが本年も大體、昨年同樣と思はれる

機械工學 廿六名中廿二名就職で、昨年度よりは素晴らしくよい

採鑛冶金 採鑛十六名、冶金の十二名が全部と云ふ、相變らず今年もすでに百パーセントとはものすごい

工業化學 十六名中十二、三名決定して居る、勿論昨年より良好

建築學科 十四名の中、十名がきまりかけて居るがはつきりした事は判らない、昨年よりよいことは事實である

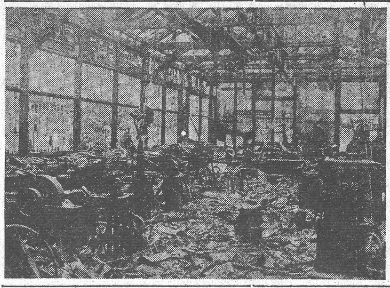
昨年と大差なき理學部

各科總數七十一名の卒業者を出す理學部では各科幹事教授やその他諸教授の斡旋で就職者は中學、高女の教員として現在少しは決定を見てゐる、大體の狀況は昨年とさしたる變化を見ない、各教室に居殘るもの〻多いこの學部だから、夏までにはきれいにかたづくもやうである

教授や學生課と或程度の連絡を

とつた方が就職に好都合と 學生課ではかたる

一般學生に注意して貰ひたいことは、就職先から就職者の大學時代は勿論高校時代の性行調査までも依頼されるのであるが、學生課にある調書は形式的で、就職者の性行全部を盡し得ざるうらみあり、延いて就職に惡影響を及ぼすことも、まゝあるので學生は平常から學生課又は教授との間に或程度の連絡をとつておく必要がある、次に學生は卒業試驗の成績ばかりをよくしようとする傾向があるが、一、二の學部を除いて大部分の學部は一、二回生の時の成績も、就職先では相當重要視することが多いから、三ケ年を通しての成績に注意を拂つて貰ひたい、なほ本年卒業生で就職未決定の人は隨時一應學生課を訪ねて、連絡をつけておく方がよい



工學部の火事

去る廿五日午前四時四十五分頃本學本部構內東側中央にあたる工學部電氣工學教室附屬機械實驗工作場より出火、本學消防隊及び市內各消防署出動して消火に努めたが、火の廻り早く、平屋建木造五十坪の同工作場を全燒して五時半鎭火した、原因は目下取調中であるが、建物の小さい割に損害は意外に大きく、機械類のみで數萬圓に達した（寫眞は火災現場の慘狀）

學友會

學友會は會員の心身を修養し親睦を圖り福利を增進するを目的とする機關で、本學々生、委託學生、選科生を正會員とし、總長、教授、助教授、講師、學生主事、事務官、司書官、藥局長、技師及び講師を特別會員とする外名譽會員、會友、準會員がある、總長を會長に戴き、正會員は會費七圓を入學の際納付することになつてゐる

沿革

本學が創設された明治三十年の秋學內に運動會が設置された、同會は翌三十一年四月三日第一回大會を開催、端艇、野球、弓道、柔道を設けて活動を續けたが、約十年の後、明治四十二年秋、教官學生の親睦を目的として以文會が成立するに及び一兩年を經て兩者合併の機運動き、遂に大正元年十一月兩會の合併を見て現在の學友會の基礎が定まつた、かくて當初の學友會は以文會の親和部、雜誌部の外に水泳部を加へた十部を含有することゝなつた、爾來順調の發展を續け次第に部を增加して內容を充實し學の內外に著しい發展振りを見せたが、昭和年代に入り學生思想の變動と共に俄然學友會は論議の中心となり、屢々批評のメスを加へられ、一部學生は學友會無能論をとなへて會費不納運動を起し、爲に空前の財政難に遭遇するに至り、學內には解散、改革の二論沸騰したが改革の意見多數を占め遂に昭和六年二月會則の大改革を行つた

各部活動の概況

學友會に屬する部は二十一の多數でその活動概況を紹介すれば……

庭球部（部長　藤井教授）遠く明治四十二年に產聲をあげたこの部、東大、九大とネットに對すは勿論今や全國インターカレッヂを目指す、ほかに全國高專京都ゾーンを主催してゐる

弓道部（部長　齋藤助教授）笠原師範の指導の下にあつてわが弓道界に京都帝大派として重きをなす、全國高專大會を主催し對東大、學外試合に鼓を鳴らしてゐる

端艇部（部長なし）瀨田の急流に育くまれたクルーは西のNOIを保持し全國のオールを征服せんとしてゐる、全國中等高專、專門大會を主催す

劍道部（部長　中島教授）昨年は學生審判で劍道界に反響を與へ益々斯界の品位の向上をはかつてゐる、その主催する全國高專大會及個人選手權大會は若き劍士の技を爭ふところとなつてゐる

柔道部（部長　伊藤教授）學生柔道確立の大旆は全國高專柔道を膝下に主宰し、一昨秋は第一回全國中等優勝大會を帝大柔道界で擧行、今や中、高專、大學と縱につらなる一大王國を建設し斯界に雄飛してゐる、昨年のくれに四帝大柔道界の結成を見た、第十[illegible]員八段

馬術部（部長　宮本教授）團體馬術の技を錬るこの部の行事は高專大會、市下學生大會、對東大戰等の外に銀鞍會の活齒朔一周騎乘がある

野球部（部長　濱部教授）主催する全國高專大會は關西ファンの熱狂するところ、關西六大學リーグ京都五大學リーグ四帝大リーグに加盟轉戰してゐる

水泳部（部長　森口教授）春期コーチ週間、學內大會、洲本サンマーハウス、勝實家族練習會全國高校優勝戰、對東大競技、關西學生競技、京都學生水上競技等を年中行事とす、就中サンマーハウスは夏の團欒でよびもの

旅行部（部長　木原教授）野へ山へとあこがれる學內ハイキングメンの指南、廣く春夏秋冬登山、スキー指導を行つてゐる

音樂部（部長　今村教授）名指揮エマヌエル・メッテル氏の下にある交響管絃團は創立十餘年二十二回の定期演奏會で關西一の定評あり、音樂理論講座、提琴個人教授をも行ひ、部內に教風會（尺八）等あり

講演部（部長　牧　教授）學術の蘊奧を究めたわれらのフレッジュなる思想を發表し、交換し更に研鑽を重ねて絕えず現代時局に呼びかけてゐる、ほかに名士招聘講演會を開く

射擊部（部長　佐々木教授）射擊趣味の養成と普及に盡し、對東大戰その他の對外試合を行つてゐる

陸上競技部（部長なし）多數名アスリートを育くむ部、日本及關西學生選手權大會に出場、對東大、同大戰、京都近郊驛傳競走、全國高專大會主催等花々しく活躍してゐる

ラ式蹴球部（部長　木廣教授）胸の雄顯ひと度立つて全國のラガーを睥睨したこの部の素華なひと頃の姿は今はなしとは云へまた我國一方の王城を保ち全國ビッグテームとして定期戰で對時して鮮せない

ア式蹴球部（部長　竹崎教授）京都リーグでは成立以來連勝、關西リーグではビッグスリー、關西の覇者として全國の王座を爭ふこと數度、主催する高校大會からは優秀なプレーヤーを生み出す

籠球部（部長　北村教授）大阪YMCA大會、關西學生リーグに參加し數度全日本選手權大會に出場し全國高校大會を主催してゐる

ホッケー部（部長　片桐教授）發達のおくれた關西ホッケーのうちにあつていち早く創立し、九大東大、神戸外人、名古屋醫大等と定期戰を行ひ高校大會を主催す

卓球部（部長　汐見教授）全國高專を網羅し唯一の權威ある大會を主催し卓球界に輝しい光を投げてゐる、對東大、關西及京都學生リーグに加盟し精進してゐる

排球部（部長　鈴木教授）近畿、關西、全日本、神宮等の選手權大會に活躍し、東大とは定期戰を開き全國高專選手權大會を主催してゐる

共濟部（部長　蒲山教授）學生經濟生活の合理化—經濟上の相互扶助を機能として、紹介、配給、食堂經營等の事業を行つてゐる、紹介事業は學生內職の紹介斡旋、貸家貸間の周旋を主なる內容とし內職の主なるものは家庭教師、翻譯、校正、刺繡、ポスター張等である、配給事業は學校上の不當支出の排除、學用必需品の良質廉價購入の目的の下に洋服、靴、帽子其他につき各指定商を嚴選する

學生食堂　共濟部直營

學友會共濟部直營食堂は昭和六年十一月に開設、昭和七年六月には醫農兩學部構內にブランチを設け目覺しい發展振を示してゐる、學生々活費の節減を圖り良質な榮養食の供給を行つて居り、朝食拾錢、晝夕食十五錢である、十一月中の調査では朝食九百、晝夜食二千五百、賣上件數四千百、一日の賣上高は單價十五錢を最高とし約五百圓に及んでゐる、從業員は四十名で、學生委員が事務を執つてゐる

新聞部（部長　西田教授）本紙は大正十四年の創刊で、號を重ねること百八十、發行部數一萬五千に達し全國學生新聞の首位を占めてゐる、創刊後週刊或は旬刊の經路をふみ來り、昭和三年からは月二回發行（五日・十五日）四頁紙の形式をとることになつたが、學內の綜合的報道機關及び言論發表機關としての全機能を發揮するためには、紙面の狹隘、發行回數の不足を痛感するに至つたため、擴張の具體案を考慮した結果こゝに成案を得て、今學年度から實施の運びとなり、通信網、販賣網の擴大、統制等を計ると共に增頁を敢行し、週刊への準備として來る九月から旬刊にすることに決定した、本紙の事業としては、時事展覽會、講演座談會等あり次第に其規模を擴大し一般から好評を以て見られてをり、其他例年紙面の一部を割いて行ふ學生論文、文藝の懸賞募集も非常な成功を收めてゐる

本紙定價一部五錢（郵稅五厘）購讀料一ケ年一圓（郵稅とも）學友會々員は學友會事務室（醫、農兩學部は學部事務室）にて切符と引換ふ

◇◆學內施設◆◇

健康相談所

學生福利增進の一機關として、學生の保健治療等のことにあたつて居り、料金は實費に近い、又就職其他健康檢査を要する場合にはここに相談するのが適當である、現在內科、外科、皮膚科、齒科、眼科、外科眼科、耳鼻科を有してゐる

開所時間（日曜祭日は休所）毎日午後二時半—五時、土曜一時—三時半、外科診察日火水木土十時—十二時、耳鼻科火水金十時—十二時、眼科火木土十時—十一時半（但し第一診後は談合に依ることとあり）

寄宿舍

學生が自治的にやつて居り、入舍の如きも公平な銓衡をなす、從つて眞面目に共同生活をなさんとする人々を歡迎する、この兩三年來其內容施設が非常に改善されてゐる

寄宿料一ケ月　甲室（十疊及八疊）八圓、乙室（七疊半及六疊）六圓、入舍金三圓、共同膳食第一學期三圓、第二學期四圓、第三學期二圓、食費一日四十五錢

なほ今回は凡そ三十六名を入舍せしめる豫定で願書〆切は四月十五日、十九日頃より銓衡を行ふ豫定である、願書は寄宿舍事務室へ學生主事宛提出すればよい

學生集會所

學生集會所には科外研究又は懇親の爲の諸會合室の設備がありその使用料としては階上一圓階下八十錢（何れも一室一回）としてゐる、使用せんとする場合には責任者より月日、時刻、借切の事由、人員を相當期間前に學生課に屆出ることを要する

共濟部の指定商

寫眞屋が變つただけあとは全部前年度通り

共濟部の指定商は三月限りで契約期間が滿了するので期限までに次年度指定商の選定を終へたが、新に尾鷲寫眞館をダルマヤ寫眞館及び京都寫眞學校十方に改めて指定したのみで、その他は從前通り、同各店の指定價格及び割引率は左の通り

△帽子、指定はソフトの二圓五十錢から五圓まで、他は市價の一割引▽靴、指定はボックス編上五圓、その他市價の一割引▽洋服、指定は爲替相場の變動による生地騰貴のため從來より幾分値上りし、上二十五圓、中二十三圓、並二十一圓、他は市價の五分引▽木工、市價一割引▽洗濯、市價の最低一割から二割引▽運送、一區五十錢、二區一圓▽寫眞、一割又は一割五分引▽時計、一割▽文具、一割五分引▽理髮五十錢を三十五錢に▽炭、市價の二割引

七人制ラグビー

來月三日花園で

恒例の七人制ラグビー大會は四月三日午前九時から花園競技場に擧行されるが、その抗戰には本學から法、經（A・B）工、農の各チームが參加する、既に各チームは二十八日より練習を開始して當日に備へてゐる、東大よりは法、經、文の各チームが同大會に參加する筈であるが何れも仲々の強敵であらう、尚ほこれに先だち二日には學士ラガー對本學

學生賣店

本部學生課建物內

東京帝國大學三省堂賣店と歩調を合せ同一商品・同一値段で當大學にても皆樣に御目見得して居りますどうぞ御利用を願ひます

ありとあらゆる學生必需品例へば本學指定の大學ノート原稿用紙から一切の文房具、化粧品、學生服、靴、鞄、スプリングコート等何れも東京製品

株式會社　三省堂經營

酒をやめよ

ビラをまき講演會を開いて 學生排酒聯盟の總會

青柳榮司博士を會長とする日本學生排酒聯盟は四月五・六兩日樂友會館で第十一回總會を開き、非常時日本の對策として「學生の無酒化」を絕唱し、大に活躍することになつてゐるが、そのプログラムは左の如し

五日（午前）開會式、報告、役員選舉、協議（午後）協議、茶話會（夜）分科委員會

六日（午前）協議、研究、意見發表、閉會式（午後）ビラまき、觀光（夜）公開講演（島津製作所で）

內村先生 記念講演

三月は內村鑑三氏三週年に當るので駒井卓、天野貞祐等諸氏の發起で、廿六日午後二時から、樂友會館で追憶會を開いたが、更に四月二日午後七時から同所で、記念講演會を催し

我ら何を爲すべきか（金澤常雄）現代に於ける基督者の態度（矢內原忠雄）日本と基督教（塚本虎二）

諸氏の講演あり、來聽を歡迎する

經濟學部 特別講義

經濟學部では昭和八年度に於て學部規程第三條による特別講義を左の如く開くこととなつた、この特別講義は毎學年更新せられるものであるから聽講の試驗は講義のあつた學年にてのみ行ふことになつてゐる

水產經濟（財部教授、第一類）▽地方財政學（汐見教授、第一類）▽保險及貿易論（谷口助教授、第一類）▽農村產業組合問題（八木助教授、第一類）▽資本主義經濟の理論的研究（柴田助教授、第一類）▽工業經濟學特別講義（大塚助教授、第一類）▽金融特殊理論（汐見教授、第一類）▽植民政策特殊講義（山本教授、第一類）▽經營學總論（小島教授、第二類）▽日本經濟史特別講義（本庄教授、第二類）▽現代社會問題の基礎的考察（石川教授、第二類）▽會計學特別教授（[illegible]川助教授、第二類）

關西野球リーグ 入場券交附

學友會事務室で

自分の學校の選手がプレイするマッチをその學校の學生が金を出さねば見られないとは不合理だ—と云ふ聲は今までに度々聞かされることであるが、本學野球部では既に昨年の秋から加盟校とはかり、關西リーグの加盟校の行ふマッチには無料入場券を出してゐるにもかゝはらず、利用者少く、本學學生のうちには料金を拂つて入場するものがあるため、この春のリーグ戰には學友會事務室で、どの試合も見物出來る無料入場券を出すことになつたから、從來二十錢の學生券で入場してゐたものは大いに利用してほしいと

友響

食堂を衛生的能率的に！

學生食堂で、使用人の澤山居るのは、六千に近い學生のお臺所を賄ふのだから、無理もないが、非能率的非衞生的なことばかり、調理人、配膳夫、食器洗濯係などに少しの分業もなく、食器が山積したら、調理人であらうと、だれだらうと近くに居るものが手助けするし配膳が急がしくなると、食器を洗つてたものが、其の儘、キャベツのセン切を鷲づかみにして食器に盛る、調理人はマスクをせぬ、甚だしいのは、丼物の方で、茶呑茶碗を洗ふのに、チャルメラ吹いて夜辻を歩くワンタンやにも劣つてバケツに水をくんどいて、チョコ／＼と茶碗を浸してテーブルに出す、上衣のよごれて居るのはよい方で、爪はのびてる、足はうす黑く、八ツ聞から、朴齒の高下駄でカッポするに至つてはスサマジイ、お櫃に飯が無くなつても配膳口に「ネーゾ」とドナルか、「あの、ごはんがありませんが」とでも云はなければ金輪際持つて來ない、十五錢だからと我慢してりや、ヤサイサラダと稱するごもくが大皿のまん中にチョンボリ鎭座ましまし、吸物と稱するものがヒョロ／＼ネギのキザンだ奴に蒲鉾一切れのミソ汁、何んと諸君、ミソ汁は吸物の一種だつたのでアリマスゾ、おまけに歌の文句ぢやないが、今日もミソお吸物明日もミソ吸物、を急テンポに、三度サンドがミソ吸モノーオ（食我鬼）

保險會社なら口がある！

帝國生命その他二・三有力保險會社の、本年度新採用社員はまだしめ切つてないさうだから、外務員からたゝきあげる覺悟のある人は直接會社に申込むか或は學生課へ申込むと世話をする

スポーツ

各部春のスケジュール

サツカー

京都蹴球聯盟リーグ

5月6日	對關大	2.5時	於本學
7日	京師俱	1.5	同
13日	同高商	2.5	同

對京都師範定期戰

4月26日	第一回戰	4時	於本學
5月28日	第二回戰	1.5時	同

野球部

◇春季六大學リーグ◇

4月22日	入場式	11.5時	
29日	對關大	3時	於京都
30日	對關大	12.5時	同
5月6日	對商大	3時	於甲子園
7日	對商大	12.5時	同
13日	對立命	12.5時	於京都
14日	對立命	3時	同
20日	對關學	3時	於甲子園
21日	對關學	12.5時	同
6月3日	對同大	12.5時	於京都
4日	對同大	3時	同

競技部

3月5日　練習開始◇4月15日　新入部員歡迎會◇4月23日　新人現役OB三巴戰◇5月上旬　新人對彥根高商戰◇5月27、8日　第6回日本學生對抗陸上競技選手權大會（於甲子園）◇6月4日　第10回對同志社大學戰（於本學）◇6月11日　學生一般對抗競技大會◇7月22、3日　第八回全國高等學校陸上競技大會（於本學）

旅行部

旅行部は已に春のスケジュールを發表したが更に追加し白馬山麓細野に於て3月27日から4月10日までのスキー合宿第三班を學生大衆から求めてゐる、一泊三食付1圓で參加者は自由に細野、丸山爾男氏宅に該期間中參集のこと。

フレッシュマンの對抗試合が行はれる筈である

學內辭令

十日附を以て本學配屬將校左の通り移動

補騎兵第二十聯隊附 京都帝國大學服務を命ず　騎兵第十五聯隊附陸軍騎兵少佐　宇島良雄

騎兵第二十聯隊附仰付 京都帝國大學服務を免ず　陸軍騎兵少佐　西村良三

依願免本官　（醫院）助手　三宅[illegible]

本學醫學部講師を囑託す　（內科學）　三宅[illegible]

大學院を退學す

左記の者に各願書の日附を以て大學院退學を許可した

三月一日　（法）勝井節二

三月四日　（文）高山岩男

三月十六日　（文）岡島誠太郎

學年曆

▽四月一日—學年始
▽自四月一日至同十日—春季休業
▽四月廿九日—休業（天長節）
▽五月第三日曜—本學祝日
▽六月十八日—休業（本學記念日）
▽自七月十一日至九月十日—夏季休業
▽秋分日—休業（秋季皇靈祭）
▽十月十七日—休業（神嘗祭）
▽十一月三日—休業（明治節）
▽同廿三日—休業（新嘗祭）
▽十二月廿五日—休業（大正天皇祭）
▽自十二月廿五日至一月七日—冬季休業
▽二月十一日—休業（紀元節）
▽春分日—休業（春季皇靈祭）
▽三月卅一日—學年終

西東

われらの部長西田直二郎教授のノンキナトーサンぶりはかつても本欄で紹介したが、又しても一パイ喰つたハナシ◆今度の特輯號で、先生も大いにガンバつて「祕話物語」を讀者に提供の筈だつたが、突如風の樣にフーワリ南洋に出かけてしまつた◆さて青くなつたのは編輯子、いつそのこと、部長の原稿に豫定したスペースだけまつ白に明けといて「此の所、部長違約につき……」と特筆でらめとかう、など、よからぬ相談が纏まつた所へ、無線電報あり◆「ナミナシ、ネッタイニイル」と、船もろ共、いとおだやかなたより◆其處は編輯子もさる者、こんな事でダーとなつては先生日頃の御クントウに對しても相すまぬと返電に曰く「ゲンコウナシ、シンブンデキヌ」

見落す勿れ

大學各學校 制服調進

祝御入學—御進級 貴下の制服御用命の光榮は何卒當店へ 黑紺サージ・セル制服上下貳拾圓より オーヴァ　レイン・コート 御注文者に限りサービスとして市電回數券進呈

廣田洋服店

電話上六〇六九番

新聞の購讀は振替用紙で！

新學期に御撰擇遊ばさるべき大學ノートのチエリーノートを御愛用下さい御在學諸彥の大半に御愛用を願つて居ります 最高紙質並判、中判、大判

チエリーノート 販賣店

農大正門前 鳳泉堂文具店

帝大本部正門前 大原堂文具店 電話上六一〇二番

岡本寫眞場

御卒業 御入學 記念に

・帝大形（手札）…¥1.00。

農學部前

ドーコレと眞寫

農學部前西

・高級レコード・
・蓄音器廉價提供・
・マンドリンギター教授・
Music Alpha

處方調劑 新藥各種 體溫計類

熊野電停前

東山藥局

電上三一四〇

しま出賣大價特牲犧服制大帝

この安値！ この地質！

弊店は多年各學校より御規定制服の御用命を戴いて居ります 常に良い品を安くと言ふ旗の下に斷然壓倒的御好評を賜つて居ります

御調製の節は御注文の有無に不拘御來店他店と御比較御批評下さい

Price List 御注文品

A 十九圓 黑・紺セル制服上下
B 二十二圓 黑・紺セル制服上下
C 二十三圓 黑・紺セル制服上下

京都河原町丸太町南

上田洋服店

電話代表上三七二五

[redacted]

昭和八年度卒業生

[redacted]

學士會

京都倶樂部 趣味で結ばる小集會が活躍

（學士欄）

荒神橋の西詰、加茂川に臨む閑靜の地に學士會京都倶樂部の可愛らしい二階建がある、昭和四年の春武田五一博士の設計で建てられ、階下には碁、將棋盤、新聞、雜誌それに玉突臺が一つ備へられ、階上は大小四間の和室から成り何の會合もない平常はがらんとして椅子ばかり行儀よく列んでゐる

會員は市内在住の學士で現在約二百名、會費月五十錢で部屋代玉突等に特典が與へられてゐる內部の組織は總務部、運動部、講演會食部、撞球部、圍碁部、將棋部、謠曲部から成り、各數名の委員を任命して中々盛況たるものがある、その事業の一つである月一回の例會には玉突大三回勝負に賞品を出して興ずるがこれには僅か十四、五名が集るだけ

例年京都ホテルで催す新年宴會は會員總數の半分で百名位の集まり三月に祇園の中村樓でやる新學士招待會も先づ百名位、兎に角倶樂部會員の多數が相會するといふ事は餘りないし、又その機會も少いらしい、之に反して趣味、娛樂を共にする會員が夫々小さな集りを作つて、親和を計る事がこの學士會の主な事業となつてゐる

松嵐會 東京觀世流謠曲の會で毎月一回開かれる、指導は浦田保清氏、會員は現在二十五名で本學名譽教授の松村[illegible]、狩野直喜、大槻高彥、和辻春次、金子[illegible]教授の岡本越、成瀨無極、齋藤大吉の諸氏を始めとし京都における學界、官界、實業界各方面の知名の士を網羅してゐる

二月會 月一回第二月曜に集まる寶生流謠曲の會である、會員は理學部の松山基範敎授始め約二十五名、銀行、會社等、實業方面に活躍してゐる人が多い

舟橋會 同じく寶生流の集りで川崎第百銀行の林[illegible]久氏らがやつてゐる

碁の會 月二回集つて烏鷺を鬪はす會員四、五名のさゝやかな會で、師範は四段梶浦[illegible]太郎氏

日本畫會 西井敬岳畫伯の指導で彩管を揮つてゐる──市役所都計課長木村[illegible]氏、同課高松[illegible]一氏らを始め、會員十一名の中九名迄市役所關係の學士様で占め、學内では武田五一博士、[illegible]助教授が加はつてゐる

泉の會 發句の會で月一回酒井仙[illegible]氏の指南で開かれる、會員は辯護士前田銀千代氏ら十二三名、年一回秋には大會を開催する

麻雀會 大學病院關係の同好の士の集まりである

其他臨時に判所あたりの小さなパーティもあるし、玉突等に學興する者もあるが、要するに學士會京都倶樂部といふものゝ活動は趣味を同じうする者の交歡といふ事に限られ、年々多數に生産される失業學士にとつてはおよそ縁の遠い話である

N.Y.K 學士會

年に三・四度集會を催す

NYKの三字で日本の海運界を代表する日本郵船の神戸支店には學士が十八人程居て、その親睦のために郵船學士會が出來てゐる、年に三、四度集まる、會では左黨が多いらしく酒がまはると談論風發大いに面白いとか、會員の年配者といつても大正二年東大工科造船出の水上氏あたりで、皆が若いからだらう

調度課の井戸川一氏（大十四法）は入社早々、船を志願して、およそ一年半を事務長として世界各國をまはつた事があり、その面白い話が澤山あるらしい、大學時分は京にゐて、その頃「たこ」と稱する[illegible]のオバアサン追ひ出し爭議の急先鋒だつたさうだ、その他に、大[illegible]秀夫氏（大九法）などの先輩が居る、一昨年の蹴球部キャプテンだつた水口雅男氏（昭七）は過日、幹部候補生として入營した

住友伸銅

新進の多い 十一名中機械科が六名

最近事業繁忙を極めてゐる大阪市此花區住友伸銅鋼管株式會社は學士約三十餘名を擁してゐるが、本學出身者は約十二、三名に達し夫々各方面に活躍しつゝある、京都が近いので別に會合を持たず、機械科出身者は九日會に加はつてゐる、なほ松村名譽教授は同社顧問として二十年近く一週一度宛出社してゐる

機械科出身では大正二年卒業の宮川清氏が最も古く、現在第一製造部副長として住友アルミ八尾工場技師長を兼任、大正五年卒業の柴田[illegible]兵衛氏は住友アルミ八尾工場長、大正八年卒業の宗知行氏は工作課長、大正九年卒業の立花好幸氏は尼崎鋼管工場長の任にあるほか大正十年卒業の久保象二、十五年卒業の竹田甚[illegible]兩氏がある、理科方面出身では大正七年卒業の山田大樹、大正十年卒業の絹川武良司、大正十一年卒業五十嵐勇、昭和六年卒業川島須夫の諸氏があり、絹川氏は銅、五十嵐氏は輕合金の研究に沒頭中である、その他大正八年法學部出身の井口弘氏があり會計課長をしてゐる

[redacted]

祝 御卒業・御入學

多年御厚情を賜つて居りました「江戸カフエー」を今般時代味を加へて一品料理「江戸」と改名し、茲に花々しく更生の第一歩を踏み出すことに致しました相變らずの御支援を偏にお願ひ申上げます

チップ全廢

菊正宗一合 二十錢
天ぷら 三十五錢
ビール 四十五錢
小鉢もの 十錢
ゆどうふ 十錢
江戸前茶めし新香付 十五錢
その他季節料理いろいろ

東京流一品料理
生粋江戸前庖丁
江戸
新京極カブキ座横

山本指定の角帽

輝く京都帝大に芽出度く御入學遊ばされた皆様に謹んでお慶び申上げます

別誂御註文に應じます

角帽値段
特上A 五圓
特上B 四圓五十錢
特A 四圓
B 三圓五十錢
C 三圓
D 二圓五十錢

時及値段御一報次第地方の御註文には代金引替郵便にて即時御送りいたします!

御卒業の方には山本のソフト
（ソフト全店品一割引）

本年流行の特選ソフトを豊富に取揃へて皆様の御來店に備へてをります

─是非御來店下さい─
壹圓以上各種……舶來・國産品種々

高級學生帽製造
山本制帽所
京大學友會 共濟部指定
京都市熊野神社丸太町上ル東側

紳士服 制服の 御用は
帝大 三高 御用
齊藤洋服店
帝大正門前

春の一日を マルブツへ!!
新撰百貨充實

四月七日まで（二階）
學生寢具大特賣
◇實用更紗夜具 三枚組 九圓
◇實用新銘仙夜具 同 十四圓
◇本場秩父夜具 同 十五圓
京都驛前
丸物
營業時間 朝八時半より 夜九時半迄

時は春 人は若い
全世界に燦として輝く日本帝國
背負つて立つ、健全なる皆様方
一献召して元氣百倍せられよ!
江戸風流 小鉢御料理
新京極
正宗ホール
電話本局一八三五番
東京店 銀座四丁目四
電話京橋二一七一五番

皮梅科 尿器科
京都市河原町三條上ル西側
醫學博士 竹中敏
電話上(3)四四三五番

出崎文具店
帝大正門西入ル
電話上三九二三番

營業品目
逸見式計算尺
製圖器械
醫學部實習用具
大學ノート
洋畫材料
事務用品